

奈良県生駒市より

島根大学 松本先生講義 受講の皆さんへ

(阪神淡路大震災、能登半島地震からの防災ヒント)

2025. 12. 09

version 1.1

奈良県 生駒市 (防災士)

坂口 直明

★★お願い事項 などなんです★

- ◎限られた時間なので、今日からでも防災、減災に役立つことを中心にお話します。自ら経験した「阪神淡路大震災」叔母さん宅の支援に行った「能登半島地震」での現場体験も交えて。
- ◎「これ知ってますか？」「ここに行ったことがありますか？」など、時々
の反応見るため、挙手頂くことがあります。実際の学校のように、
手を挙げた方に回答を求めるとかは原則しませんのでご協力を。
- ◎震災被害の「写真」「動画」を、説明の中で一部引用しています。表示する前に一言お伝えしますので、一瞬目をそむけて頂く等配慮下さい。
退席もOKです。

◆自己紹介◆ 坂口 直明という人

- ・ 1959年（昭和34年）大阪府守口市生まれ。寝屋川市育ち。
- ・ 勤務先

- 1) 富士通SSL(横浜、横須賀)..... 1982年～1988年
- 2) 松下電器産業(のちのパナソニック)・・ 1988年～2013年
- 3) 日本アイビーエムサービス..... 2013年～2015年
以上3社「情報システムエンジニア」
- 4) エムケイ(京都)..... 2016年(11カ月間)
- 5) 生駒交通 2016年～
以上2社「タクシー運転手」

- ・ 家族 親族

嫁、30代と20代の娘、母は92歳(父は12年前に他界)
関東に弟一家がいます。

- ・ 趣味や好きな事

クルマ関係は何でも(運転する、研究する、触る、洗う、仲間を増やす・・・など)
音楽は、演歌からスーパーユーロビートまで何でもききます。そして旅行好き。



松江、神戸、能登半島（石川県）そして生駒市（奈良県）

松江 => 神戸.....約272キロ
=> 生駒(奈良県).....約310キロ
生駒 => 金沢.....約291キロ
金沢 => 珠洲(能登半島)・・約137キロ



松本先生とわたし（2024年7月版）

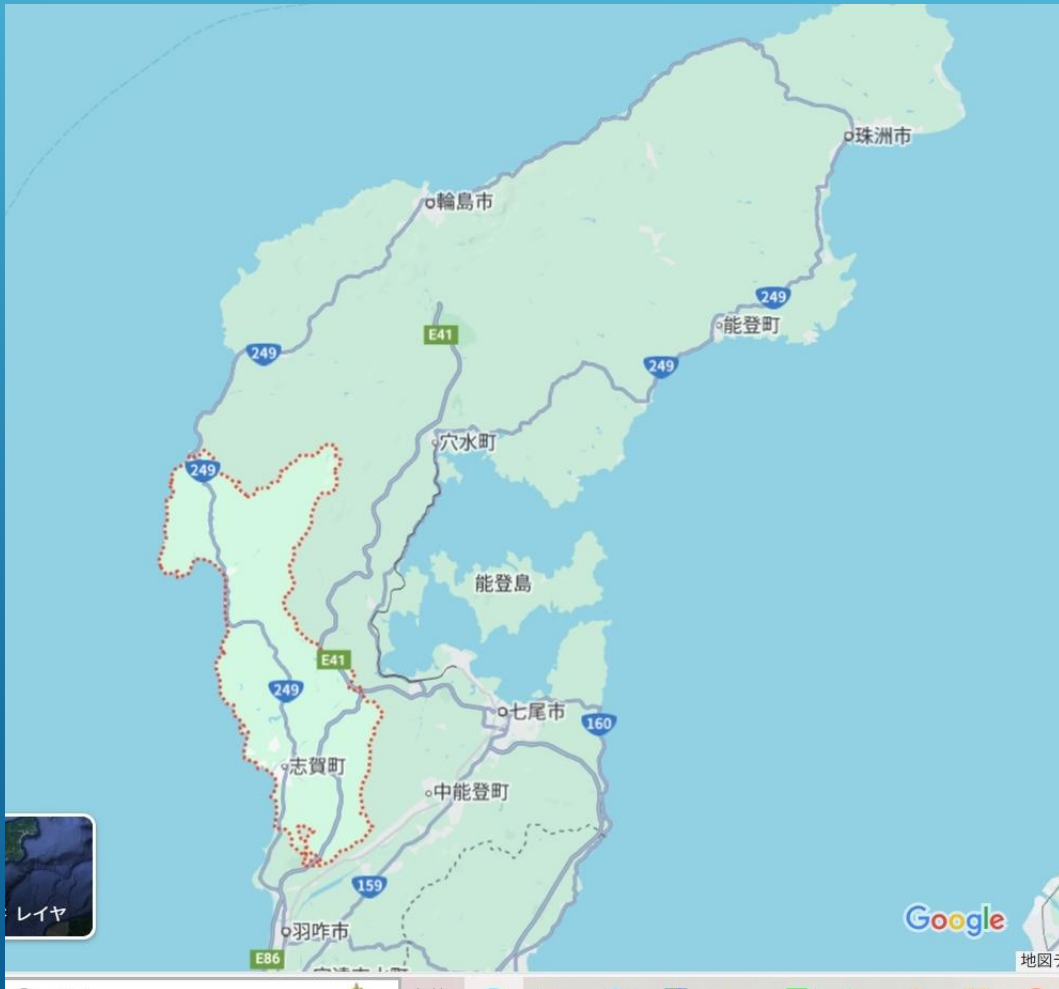


★本日のまとめを先に★

自然災害から大切な命を守る 「5つのヒント」

- ・寝室には「寝具」「非常持ち出し貴重品」以外を置かない
- ・「そこにあるものでやる」「そこにいる人でやる」
「人」も「もの」もないときは自分で集める努力をする
- ・誰に対しても「感謝の気持ち」を持ち続ける
- ・すべてがだめなときにも、絶対に最後まであきらめない
- ・自分の「好き」「得意」を使って、自分そしてすべての人の「命」を守る

◆ 2024. 01. 01 能登半島地震から (令和の震度7を知る)



2024. 01. 01 能登半島地震から

(2024年5月31日NHK「今夜も生でさだまさし 徳島放送局編」より)

2024. 01. 01 能登半島地震から

震度7
輪島市

震度7
志賀町



震度6強
珠洲市木の浦ビレッジ

震度6弱
能登町布浦地区（松波）



◆ 1995. 01. 17 阪神淡路大震災から (平成の震度7を知る)



り災程度	<input checked="" type="checkbox"/> 全壊 (5割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> 大半壊 (2割～5割未満)	<input type="checkbox"/> 一部破損 (2割未満)
------	--	--	---

兵庫県南部地震に伴い生じた「り災」の状況は
上記のとおり相違ないことを証明します。

平成 7 年 2 月 8 日

神戸市東灘区 長

神戸市東灘区 印

【阪神淡路】1995年1月17日 早朝 震度7 その朝の我が家(神戸市東灘区)



【阪神淡路】1955年1月17日 早朝 震度7 その瞬間の我が家

(自宅マンション4階から)



【阪神淡路】1995年1月17日 早朝 震度7 そのときの我が家(2022年1月撮影)



【阪神淡路】1995年1月17日 早朝 震度7 「罹災証明書」

り災程度	<input checked="" type="checkbox"/> 全壊 (5割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> 半壊 (2割～5割未満)	<input checked="" type="checkbox"/> 一部破損 (2割未満)
------	--	---	--

兵庫県南部地震に伴い生じた「り災」の状況は
上記のとおり相違ないことを証明します。

平成 7 年 2 月 28 日

神戸市東灘区 長

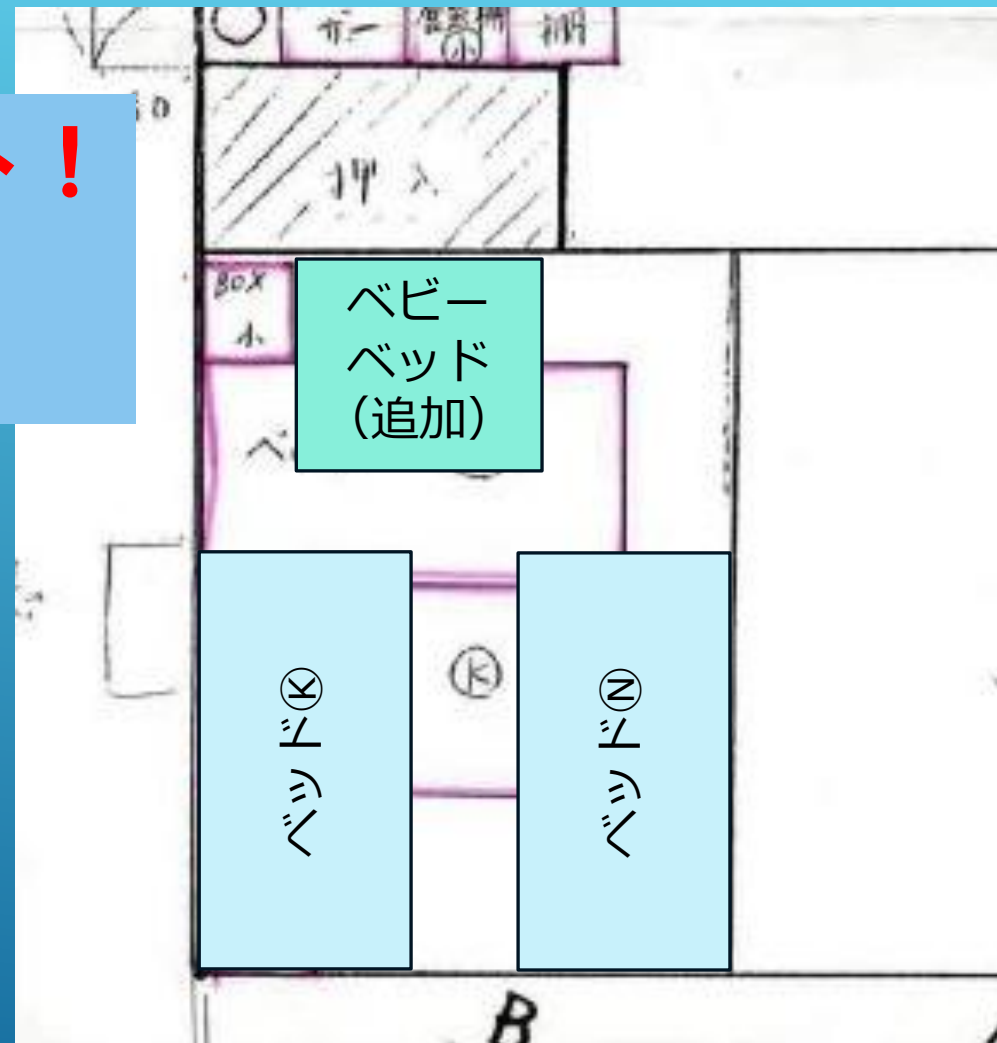
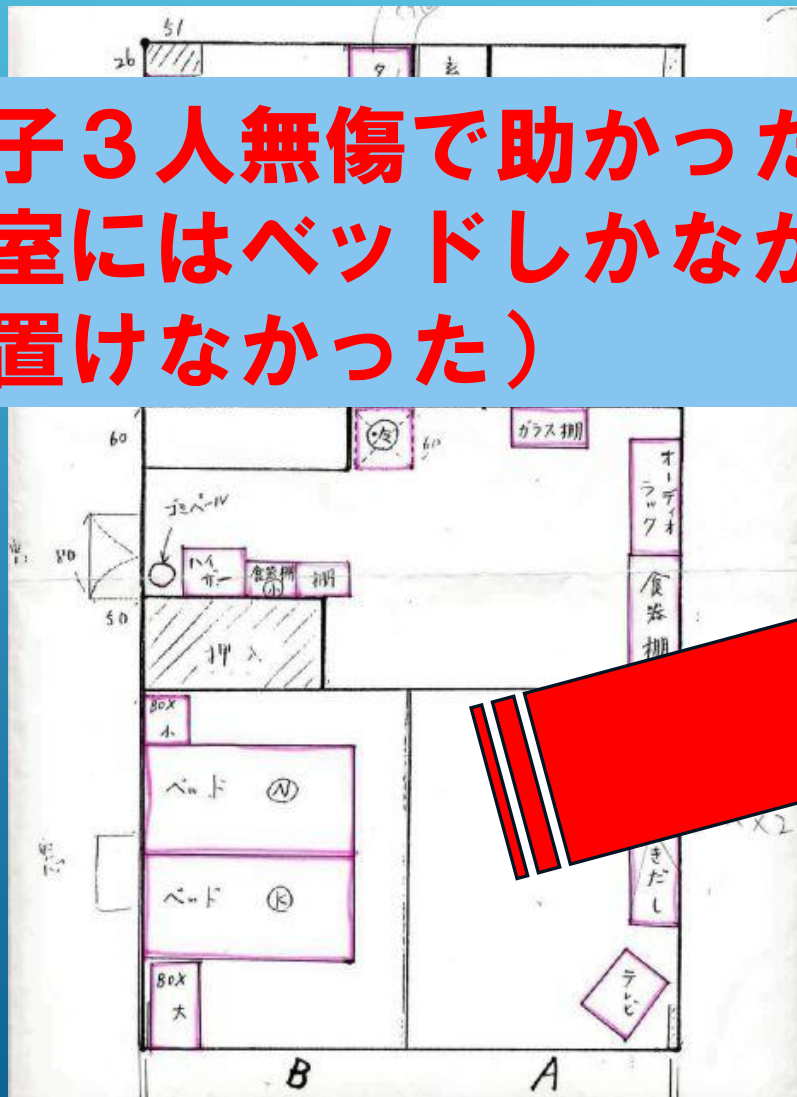
神戸市東灘区 長 印

【阪神淡路】1995年1月17日 早朝 震度7 その瞬間の我が家

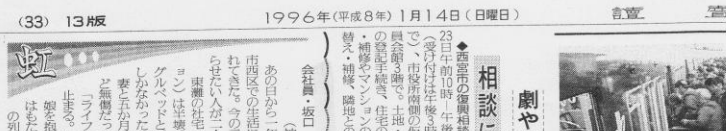


【阪神淡路】1995年1月17日 早朝 震度7 「我が家のレイアウト図」

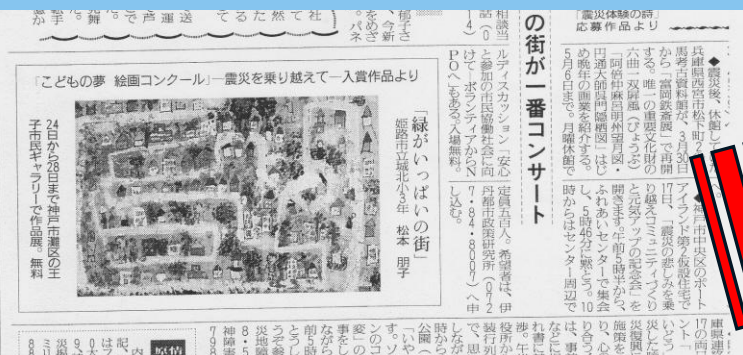
親子3人無傷で助かったポイント！
寝室にはベッドしかなかった。
(置けなかった)



【阪神淡路】1996年1月(1年後)の 新聞投稿記事から



- 長女（生後5か月）の
命をつないだ2人**
- ・ビール工場保安室の
「お湯」と「仮眠室」
 - ・弟勤務先社用車の「自動車電話」



(33) 13版 1996年(平成8)

虹
あの日から一年。ここ神戸市西区での生活にもやっと慣れてきた。今の元氣な姿を知らせた二人が二人いる。
東灘の社宅(賃貸マンション)は半壊。寝室にシングルベッドとベビーベッドしかなかったのが幸いして妻と五か月の娘はほとんど無傷だった。
「ライフラインは当分止まる。生後五か月の娘を抱えて避難所ではもたない」。長蛇の列の公衆電話で

社員・坂口 直明 36
(神戸市西区)

読者から

大阪・寝屋川市の両親にやっと連絡。どこが震源なのかもあいまいなまま、娘を抱えて妻と国道二号線を東へ向かって歩き始めた。約三時間で名神高速西宮インター近くまで来た時、娘が泣き出した。朝、尼崎市内まで来て日が暮れ

親切なお二人、今どこに

から何も食べさせていないことに気づく。国道沿いのビール工場に駆け込んだ。
「水もガスも出ないが、とにかく湯をわけてくれた守衛室の方。畳の暖かい部屋で、

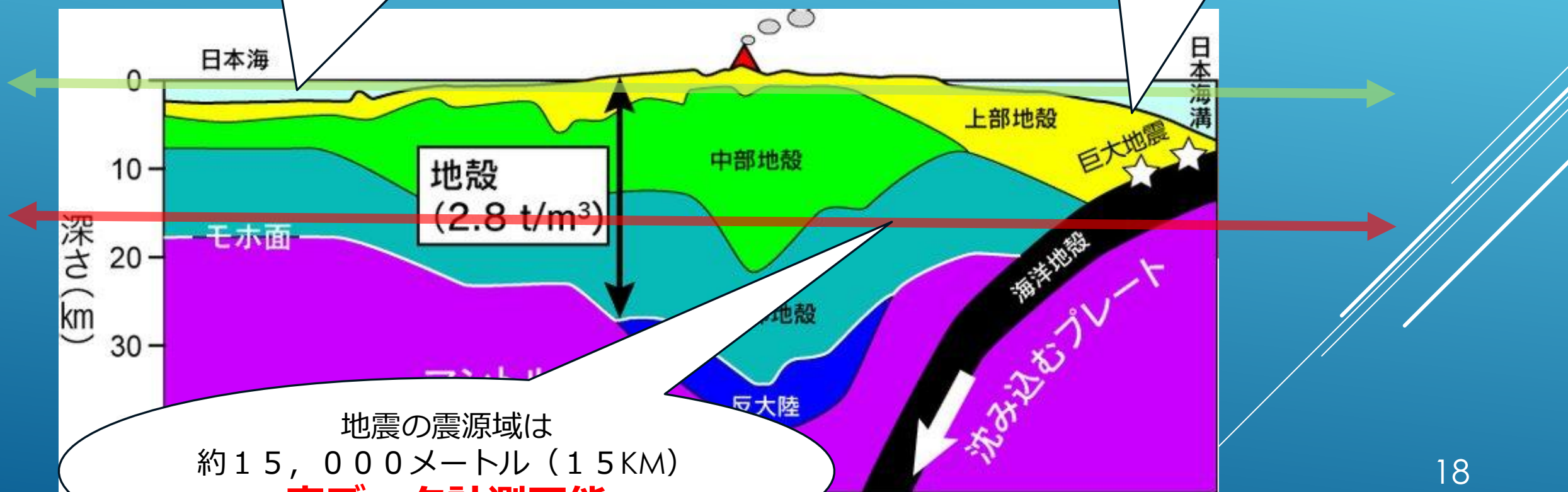
おむつを替えてミルクを飲ませた。何もお礼出来ません。すみません」と言いつて頭を下げたが、親切がうれしくて涙がこぼれそうになった。
昼前から歩いて約六時間、京阪電車の淀屋橋駅まで送ってもらい一安心したが、運転手さんは、とって返して戸屋市へ向かうという。ここでも涙がこぼれる思いだった。他にも多くの方から、見舞いや救済物資をいただいた。でも、この守衛さんと運転手さんは、一生わが家の記憶か

◆「社会保障・社会福祉」について具体的な相談に応じ「オニツクホール」で。淡水生「して」と題して講演。パネ

【ご参考】地震予知の精度が低い理由・・・実データが取れない

地層、地質を確認できている範囲
(地下数100メートルまで)

海中は深海潜水艇で
6000メートル付近まで確認



地震の震源域は
約15,000メートル(15KM)

実データ計測不能

★本日のまとめ★(これだけは覚えて！！！！)

自然災害から大切な命を守る 「5つのヒント」

- ・寝室には「寝具」「非常持ち出し貴重品」以外を置かない
- ・「そこにあるものでやる」「そこにいる人でやる」
「人」も「もの」もないときは自分で集める努力をする
- ・誰に対しても「感謝の気持ち」を持ち続ける
- ・すべてがだめなときにも、絶対に最後まであきらめない
- ・自分の「好き」「得意」を使って、自分そしてすべての人の「命」を守る

最後まで説明を聞いて頂いて
ありがとうございました。

